

## 第5学年 国語科学習指導案

日時 ○年○月○日(○) 第○校時  
場所 ○○○○学校 5年○組  
児童数 ○名  
指導者 ○○ ○○○

### 1. 単元名(教材名)

「優れた表現に着目して読み、自分の感じたことが伝わるように朗読しよう」

(大造じいさんとガン)

### 2. 単元目標

(1) 自分の思いや考えが聞き手に伝わるように朗読することができる。

[知識及び技能] (1) ケ

(2) 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。

[思考力、判断力、表現力等] C (1) エ

(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

[学びに向かう力、人間性等]

### 3. 本単元で取り上げる言語活動

優れた表現に着目して読み、自分の感じたことが伝わるように朗読する。

### 4. 単元について

(1) 児童について

(省略)

(2) 教材について

「大造じいさんとガン」は、大きく「前書き」と「本文」の二つに分けられる。前書きには、物語の基礎となる「いつ、どこで、誰が、何をしたか」が明確に示されていたり、大造じいさんの人柄や魅力を想像したりすることができる。また、時代を遡り、その当時の囲炉裏端をイメージして、物語に入り込めるようになっている。本文では、狩人である「大造じいさん」とガンの頭領である「残雪」の関係を基軸に進行していく。残雪の様子や行動を受け、大造じいさんの心情がどう移り変わっていくかが、大きなポイントとなる。また、優れた描写や表現に着目して朗読の仕方を工夫したり、その効果について考えたりすることで、この物語の魅力に迫ることにつながる。さらに、物語の魅力について伝え合うことで、物語の読み方の多様性を感じさせられる教材である。

### (3) 指導について

本単元では、次の点について工夫しながら指導に当たる。

一つ目は、文章の内容を正確に読み取ることができるよう、通読したときや音読の宿題のときに、「だれが」「何をした」などの簡単な読み取りに関する問題に答えさせて確認していく。そして、全体であらすじや山場を捉えさせるときには、単に山場はどこか決めるのではなく、「なぜ、ここが山場だと思うのか」という理由に迫っていく。さらに、第 1 場面の前半部分については、優れた表現に着目しながら全体で読み進めていき、物語の読み方を抑えていく。

二つ目は、進んで、登場人物の行動や様子、情景描写から具体的に想像できるように、グループごとに場面を分けて朗読することに取り組ませる。3～4人程度のグループにすることで、自分の思いや考えを発言しやすく、より優れた表現に着目して読むことができると考える。その際、朗読記号についても触れ、自分の感じたことが伝わるようにどのように朗読するのか、また、その理由などを話し合わせ、深めていく。どのように朗読するかを考えることは、人物像や物語の全体像を想像したり、表現の効果に気付いたりすることにつながる。

三つ目は、「読解力向上プラン Ver.1」の指導のポイント⑩「主観的な表現（～と思った、～がおもしろかった等）を制限し、論理的に考え、表現させる」を意識しながら指導にあたる。単元を通して、さまざまな学習活動の中で思ったことや考えたことについて、どうしてそう思ったのか、どうしてそのように考えたのかという理由や根拠を大切にしながら、論理的に考えさせていきたい。また、自分の思ったことや考えたことについても、相手により伝わる表現で伝えられるようにしたい。

### 5. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の思いや考えが聞き手に伝わるように朗読している。((1)ケ)	「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。  (C (1) エ)	進んで、優れた表現に着目して読み、学習の見通しをもって、自分の感じたことが伝わるように朗読しようとしている。

### 6. 単元の指導計画（全 6 時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法等
1	○学習の見通しをもち、全文を通読して、読み取りクイズを解く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習計画表を示し、見通しをもって、学習に臨めるようにする。</li> <li>・通読した後に、物語の内容を正確に読み取れているか確認するため、読み取りクイズに答えさせる。</li> </ul>	[主体的に学習に取り組む態度] <u>観察・発言</u> ・学習の見通しをもって、物語を通読しているかの確認

2	○物語のあらすじを確認し、「山場」がどこかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「山場」という学習用語について確かめる。</li> <li>・山場はどこか、その前とは何がどう違うのかということ、本文の叙述を基に説明させる。</li> </ul>	<p>[思考・判断・表現] ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山場について本文の叙述を基に、根拠を明らかにして説明できているかの確認</li> </ul>
3	○第 1 場面の前半部分を優れた表現に着目して読み、心情や人物像、物語の全体像を具体的に想像し、朗読の仕方を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの情景について扱った学習を想起させ、情景に着目する読み方を振り返らせる。</li> <li>・情景描写以外にも心情や人物像などを想像できるような表現に着目させ、朗読記号の使い方について確かめる。</li> </ul>	<p>[思考・判断・表現] ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた表現に着目し、どのように朗読するのか、また、その理由について考えられているかの確認</li> </ul>
4 本 時	○3~4人のグループを作り、それぞれの場面の優れた表現に着目して読み、具体的に想像したことや自分の考えたことを踏まえて、朗読の仕方について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の感じたことが伝わるようにどのように読むのか、また、その理由などをワークシートに書き込ませたり話し合わせたりする。</li> </ul>	<p>[主体的に学習に取り組む態度] 観察・発言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた表現から具体的に想像したことや自分の考えたことなどを進んで伝え合っているかの確認</li> </ul>
5	○自分たちが感じたことが伝わるように、グループで朗読の練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の感じたことを言葉で表現したり、朗読記号を用いたりして、聞き手に伝わるような朗読ができるよう助言する。</li> </ul>	<p>[主体的に学習に取り組む態度] ワークシート・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の感じたことが伝わるように朗読しようとしているかの確認</li> </ul>

6	○学級で朗読会をし、効果的に用いられている表現に着目して物語の魅力についてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えが聞き手に伝わるように朗読させる。</li> <li>・物語の魅力についてまとめさせる際には、「とても」「よかった」などの言葉を使わずに、より相手に伝わるような言葉で表現するようにさせる。</li> </ul>	<p>[知識・技能]</p> <p><u>観察</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えが聞き手に伝わるように朗読しているかの確認</li> </ul>
---	--------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

7. 本時の学習 (4/6 時間)

(1) 本時の目標

- ・優れた表現に着目し、想像したことや自分の考えたことを踏まえて、朗読の仕方について考える。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等 ○B と判断できる状況 ●C と判断する状況の手立て
○前時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景描写や心情・人物像などが想像できるような表現に着目して読むことを押さえる。</li> </ul>	
<p>すぐれた表現に着目し、想像したことや考えたことをもとに、朗読の仕方について考えよう。</p>		
<p>○自分の選んだ場面を黙読して、優れた表現に線を引き、具体的に想像したことや自分の思い・考えなどをワークシートに書き込む。</p> <p>○具体的に想像したことや自分の考えたことが伝わるように、どのように読むのかをワークシートに書き込む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている児童には、心情が分かる表現を見つけるよう助言する。</li> <li>・一つ一つの言葉を大切に、想像を広げながら読み進めていくよう助言する。</li> <li>・朗読記号の使い方について、確認する。</li> </ul>	<p>[思考・判断・表現]</p> <p><u>ワークシート・観察</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章中の優れた表現から心情や人物像を想像している。</li> <li>●心情が分かる表現を見付けるよう声を掛けたり、読む範囲を少なくしたりする。</li> </ul>

<p>○3～4人のグループで、具体的に想像したことや自分の考えたこと、どのように読むのかなどを交流し、朗読の仕方について話し合う。</p> <p>○グループで考えた朗読の仕方について、全体でいくつか交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員の考えを共有し、優れた表現から想像できることや考えられることを深めさせる。</li> <li>・より聞き手に伝わる朗読になるように、読み方を工夫させる。</li> </ul> <p>・今日グループで考えたことを朗読するときには生かすよう伝え、次時の学習の見通しをもたせる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p><u>発言・観察</u></p> <p>○自分の思いや考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりしている。</p> <p>●話合いが進んでいないグループには、一人ずつ考えたことを伝えるよう助言する。</p> </div>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------